



長崎県の取組 ～長崎県造船振興連絡会議～

Nagasaki Prefectural
Government

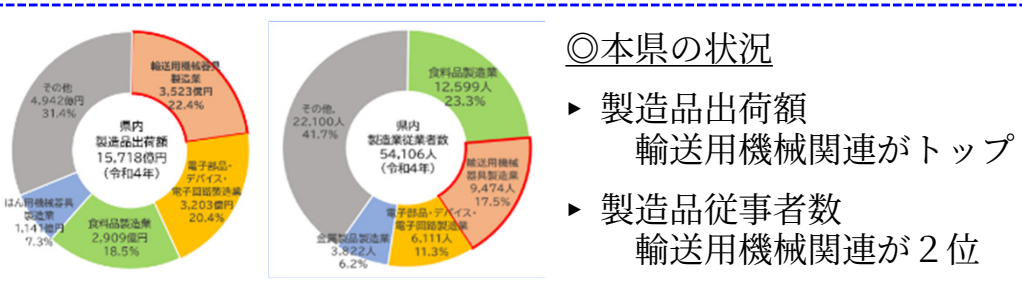
長崎県

長崎県の造船業

○造船業は、長崎県の経済をけん引し、雇用を支える重要な基幹産業。

○海上輸送を担う商船、艦艇・巡視船、鋼製漁船・漁業取締船、環境対応船に加え、浮体式洋上風力など幅広い分野での取り組みが進められている。

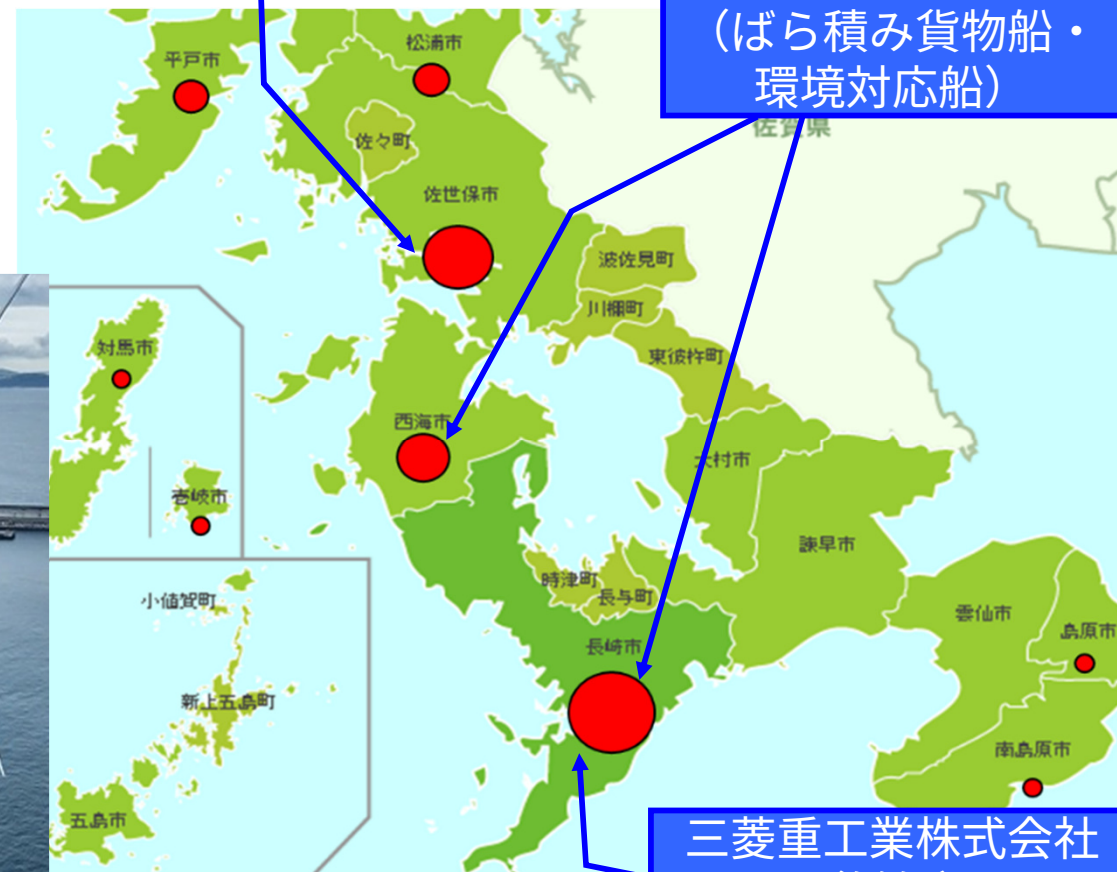
○経済・防衛の両面から日本の安全保障に貢献。重要な役割を担う存在。



写真はNR(Nagasaki Reader)より抜粋

佐世保重工業株式会社
(艦艇・巡視船)

株式会社大島造船所
(ばら積み貨物船・
環境対応船)



三菱重工業株式会社
(艦艇)

魅力発信の取組

- 造船業の維持・成長を支える人材の確保・育成が重要。
- 学生、保護者など、広く県民に県内企業を紹介。継続的に造船業を特集。
- 造船所の技術、現場で活躍する若い人材等の紹介を通じ、魅力を発信。

<就活と進学の情報紙 (NR)>

「NR」(Nagasaki Reader)の特集号として年5回発行。令和元年11月、スタート

○造船業は、これまで5回特集

- R2年9月 「どっこい元気な造船業」
- R3年7月 「造船の原点 × 長崎の原点」
- R5年7月 「好いとるばい造船業」
- R6年7月 「造船新時代」
- R6年9月 「造船」

○発行部数 22万部

- 主な配布先
 - ▶ 高校生全員 (約4万部)
 - ▶ 各大学・高専・専門学校
 - ▶ 自治会を通じ、各世帯へ回覧

The collage consists of several magazine covers and articles. The top row features three covers: 'どっこい元気な造船業' (Do-ko-i元気な造船業), '造船の原点 × 長崎の原点' (造船の原点 × 長崎の原点), and '造船新時代' (造船新時代). Below these are several smaller articles and profiles. One article is titled '修了生が現場で活躍中!' (Graduates are active in the field!). Another article is titled '造船の魅力を発信' (Promoting the charm of shipbuilding). The bottom row features three more covers: '研さん積み重ねられる存在に' (Researcher's accumulated existence), '船完成の達成感は一ひとしお' (The sense of accomplishment of ship completion is even more), and '圧倒的なスケール感が魅力' (Overwhelming scale is a charm).

造船業の
魅力を発信

人材確保に向けた取組

- 造船業の維持・成長を支える人材の確保・育成が重要。
- 昨年度、大島造船所と連携協定。
- 県内造船所、関係市町と連携し、日本中小型造船工業会にもご協力いただき、造船所見学会を実施。

●造船所見学会の様子



18校、645名が参加してくれました！

昨年度は、造船所主催の見学会も実施されました。



- 保護者向け企業見学会
県において、保護者の方に企業を見学いただき、県内企業の魅力を改めて発見いただくバスツアーも開催

長崎県造船振興連絡会議

- 造船業の維持・成長を支える人材の確保・育成が重要。
- 造船人材の確保に向け、関連企業、県内大学・工業高校、国・県・関係市が連携。
- 昨年、取り組んだ見学会を継続しつつ、国や県外大学と連携した造船業のPRなど、新たな強化策を検討。

長崎県造船振興連絡会議

1. 現状・背景

本県の造船業は、国際物流を担う商船、国防を担う艦艇の建造・修繕や巡視船の建造、水産業を支える鋼製漁船・運搬船、航路を結ぶ旅客船等の内航船など、幅広い分野に広がっている。←

また、造船業で培った高い加工技術や優秀な人材を活かし、国際的な環境規制の強化に対応した新たな船舶や浮体式洋上風力など、GX 関連の新たな需要獲得を目指すなど、時代の潮流にあわせた取組も進められている。←

このような中、国においても、造船業がデュアルユース産業である点を重視し、経済安全保障の観点から、国内投資や技術開発等を支援する方針が示され、注目を集めている。←

2. 目的

新たな需要獲得が見込まれる一方で、人材確保は厳しさを増す中、産学官が連携し、造船業の魅力発信や人材育成に取り組む、今後の人材確保につなげることを目的に「長崎県造船振興連絡会議」を設立←

3. 今後の取組

○産官学が連携した造船業の魅力発信の取組検討及び実施←

- ▶ 小学生向け見学会←
- ▶ 保護者見学会←
- ▶ 高校、大学と企業が連携したものづくり体験会や講座・授業の実施←

○各種媒体を活用した造船業PR←

- ▶ 県の広報誌や就活情報誌NRでの造船特集掲載←

○国や県外大学と連携した本県造船業のPR ※今後、検討←

- ▶ 県外大学の学内説明会やUIターン就職イベントの活用←
- ▶ 国が東京・福岡等で開催するイベントへの参加（国への新規提案も検討）←

「長崎県造船振興連絡会議開催の様子」



今後の取組

- 今回の「造船振興連絡会議」を核に、産学官の連携を深め、さらに取り組みを充実。
- 国に御協力いただき、こうした取組を含めた本県の造船業を全国に情報発信。他県とも連携しながら、我が国の造船業を盛り上げていきたい。

●令和6年度の県の取組

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
魅力発信	NR:造船新時代		NR:造船 造船所見学会 (4校、86名)	造船所見学会 (4校、131名)	造船所見学会 (9校、390名)		造船所見学会 (1校、38名)		
人材確保			情報交換会 (大学・企業(6社))	企業見学会 (3社)		企業説明会 (3社)		企業見学会 (バスツアー) (2社)	保護者向け 企業見学会 (1社)
			オンライン就職フェア (3社)				交流会 (大学・企業(4社))		

●令和7年度は、小学生の見学会にワークショップ的要素を取り入れ、取組を深めたり、令和8年度に向け、中学生・高校生を対象とした、体験学習的見学や企業の授業への参画などを検討していく。